

Rotary KashiwaNishi Rotary Club



四つのテスト

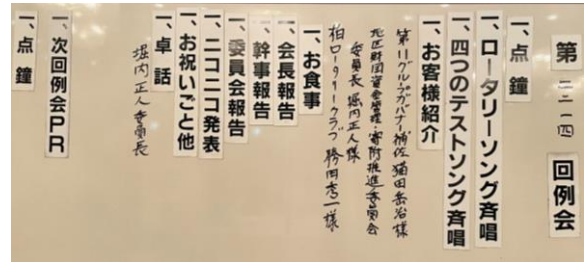
- 1、 真実かどうか？
- 2、 みんなに公平か？
- 3、 好意と友情を深めるか？
- 4、 みんなのためになるか？



Kashiwa Nishi Rotary club ARCHIVE(柏西ロータリークラブ アーカイブ)

柏西 RC の歴史的重要な資料を収集、保存したものをデジタル化し、インターネット上で公開する新しい取り組みです

柏西ロータリークラブ会報 第2181号
第2214回 通常例会
2022年11月11日 金曜日
12:30~13:30



会長報告 会長 塚本 英夫



今日の会長報告は先週の理事会で承認された項目を少しお話します。

まず、12月23日は忘年会とします。当然夜間例会になりますし、嶋田親睦委員長が盛り上がるような企画を考えてくれています。なので、何が出るか楽しみです。

そして、1月6日は新年会でこの日も夜間例会になります。パートナー同伴OKにしましたので、ぜひ一緒に来てください。女性ボーカリストのジャズライブで少しだけディナーショーの雰囲気を味わっていただけたかなと思っています。

そして、翌週の1月13日は記念すべき2,222回の例会になります。金本プログラム委員長が提案してくれた記念日をお持ち帰り頂く予定です。私が会長の時にこのようなタイミングになり、とてもラッキーなことだと思っています。

それから、職業奉仕委員会が窓口になる職場見学の案が承認されました。見学先は八ツ場ダムで日程は3月9~10日の予定です。かつて民主党時代に事業仕分けとか称して途中で工事を中止にしようとした現場で、社会問題になりました。その後自民党政権になって完成したわけですが、以前柏市水道部の吉川さんの卓話で「柏市にもそこから水が供給されてる」と聞いて、私がぜひ行ってみたいと思ってた場所です。

やっとチャンネルが見つかり、一般公開されていない個所も国交省の職員の案内で見学できることになりました。もう行ったという方も一見の価値があると思います、期待してください！

幹事報告 幹事 寺田 康雄

1. R財団への寄付に対し、表彰品の贈呈
高田住男会員；マルチプル PHF5 回目
榎田仁一会員；マルチプル PHF 4 回目
(PHS 会員)
ゲイビアデル会員；マルチプル PHF2 回目
湯浅千晶会員；マルチプル PHF 1 回目
寺田康雄会員；マルチプル PHF 1 回目
2. 米山記念奨学会への寄付に対し、感謝状の贈呈
勝田健一会員；第2回米山功労者
ゲイビアデル会員；第2回米山功労者
塚本英夫会員；第1回米山功労者
榎田仁一会員；第1回米山功労者
3. 米山学友会忘年会開催の案内
日時；11月26日(土) 17:30~20:00
場所；三井ガーデンホテル千葉
参加費；ロータリアン1万円/米山奨学生3千円
4. 2月18日 RYLA セミナー参加者
榎田仁一委員長/大沼隆副委員長/リュウブンキン米山奨学生
5. 12月13日(火) 18:00~20:30 『第11グループ会長・幹事会』開催の案内



来賓挨拶

RI2790 地区 第11G ガバナー補佐
柏南 RC 猫田 岳治様

柏 RC 勝田 秀一様



ニコニコ発表

パートナー誕生日 千葉 信哉会員

結婚記念日 小溝 正行会員
中嶋 利生会員

ニコニコ(^_^♪ 水野 晋治会員 (堀内様本日はありがとうございます)

卓話 RI2790 地区 2022-23 年度財団資金管理・寄付推進委員会 委員長 堀内 正人様



「ロータリー財団（財団資金とポリオについて）」

1. ロータリー財団の概要

◎アーチ. C. クランフ：ロータリー財団（TRF）を作った人「財団の父」

・1917年に「ロータリー基金（後のロータリー財団）」を設立しました。最初の寄付はカンザスシティ RC の 26 ドル 50 セントです。

・1928年に「ロータリー財団」へ名称変更され、1929年に「身体障がい児童保護国際協会」に初の補助金 500 ドルを贈ります。この補助金贈呈が「障がいのある人のために、困窮している人のために、青少年のために」という財団のその後の方向性を決定付けたと言われております。長い間、ロータリアンからの理解を得ることができませんでした。1947年 ポール・ハリスの逝去に伴い「ポールハリス

記念基金」を呼びかけた結果、130 万ドル以上の寄付が集まり、その後の財団発展の礎となりました。同年、ロータリー財団初のプログラムとして「高等教育のためのロータリー財団奨学金」が実施されております。

◎ロータリー財団の財務（2020-21 年度）

収入は 5 億 4500 万ドルで支出は 3 億 8400 万ドル（支出の 92%はプログラム補助金と運営費）。

健全な財務評価や透明性が認められ、チャリティーナビゲーターで最高評価を受けております。

◎ロータリー財団の支出（2020-21 年度）

ポリオプラス（1 億 5000 万ドル 39%） グローバル補助金（1 億 3000 万ドル 34%）
地区補助金（3000 万ドル 8%） ロータリー平和センター（400 万ドル 0.01%）

・ロータリー財団の実績は全て善意による寄付によって生まれたものです。

2. ローターリー財団への寄付

◎寄付は選択することができます（寄付分類）

①年次基金寄付はロータリー財団への寄付の基盤であり、2790 地区では会員 1 人当たり 150 ドル以上のご寄付を目標としております。3 年後に地区やクラブの活動資金として戻ってきます（シェアシステム）。

②恒久基金寄付は運用益だけを地区と TRF が使い、元金は使われず TRF の基本財産に組み入れられます。

③ポリオプラス基金はポリオ根絶のための活動（子どもへの予防接種）に全額使われます。2790 地区では会員 1 人当たり 30 ドル以上のご寄付を目標としております。

◎2790 地区の寄付目標

年次基金寄付は 1 人当たり 150 ドル以上、ポリオプラスへの寄付を 1 人当たり 30 ドル以上、そして、寄付ゼロクラブをゼロにする、を掲げており、昨年度に初めてこの 3 つの目標を達成しました。

また、1 人当たり年次基金寄付額は全国 34 地区中 9 位、関東圏内 10 地区中 5 位に浮上しました。

3. ポリオ根絶に向けた取り組み

◎END POLIO NOW

・ポリオ根絶に向けた取り組みはロータリーの最重要目標（ロータリー財団章典）です。1 人でも感染者が残っていくと伝播していくので、根絶しなければなりません。根絶とは 3 年間ポリオ発症者がゼロであることを指します。

①ポリオの基本的知識（再認識）

◎ポリオ（急性灰白髄炎、脊髄性小児麻痺）

・ポリオウイルスによって発生する疾病です。5 歳以下の子どもがかかることが多いが大人も発症することがあります。麻痺などを引き起こし、発症した場合の治療方法が無いです（感染を防止するしかない）

◎ポリオウイルスとは？

1) 野生株ポリオウイルス

・野生株ポリオウイルスは 1 型、2 型、3 型の 3 種類。2 型は 2015 年 9 月、3 型は 2019 年 10 月に根絶が宣言され、現在は野生株 1 型ウイルスの伝播が続いており、この野生株由来のポリオ根絶を目指しております。

2) 伝播型ワクチン由来ポリオウイルス (VDPV)

・経口ワクチンに含まれるポリオウイルスが下水などの環境下で遺伝子変異を起こし、野生株同様の症状を起こします。

◎ポリオウイルスの感染経路

・経口感染：ウイルスで汚染された水などが人の口の中に入り、腸の中で増殖することで全身に感染し、感染者の腸内で増殖したウイルスが排便により下水に流入すると、上下水道が未整備など、衛生状態が悪い場合に、下水に流入したウイルスが再び人の口に入り、感染が拡大していきます。潜伏期間は 3～21 日間です。感染者の 90～95%は症状が

出ない（不顕性感染）のですが、感染者の 5～10%で発熱、倦怠感、嘔吐、下肢痛などの症状が出ます。更にごく一部（0.1～0.2%）でウイルスが脊髄の灰白質や延髄に入り、腕や脚に急激な麻痺が生じ（急性弛緩性麻痺）、延髄や呼吸筋が侵されると自発呼吸ができなくなります（鉄の肺：現在は陽圧換気による人工呼吸器に置き換わっている）。

◎ポストポリオ症候群

幼少期に麻痺型ポリオを発症した人は、急性症状の回復から数十年後（40～50 歳代）に、新たな筋力の低下や極度の倦怠感など、更なる症状を発現することがあります（ポリオ後遺症）。ポリオを治療する方法は無く、ワクチンによる予防接種によって、感染を防ぐ必要があります。



◎ポリオワクチン

1) 経口ワクチン（生ワクチン OPV）

・ポリオウイルスの病原性を弱めて作ったワクチンです。ポリオに感染した時と同じ仕組みで体内に強い免疫ができます。世界的に長年普及し、患者数を激減させてきました。経口投与（2～3 滴）によって接種します。メリットは低コスト（3 ドル）で投与が簡単なことであり、ポリオ流行地域で広く使用されます。デメリットとして、数十万～数百万に 1 回、ポリオ発症時と同じ症状が出る場合があります。また、接種者から弱毒性ポリオウイルスが 1～2 か月排出（便）されるのですが、免疫の無い人に経口感染するとポリオと同じ症状が出る場合があります（赤ちゃん→オムツを代える保護者など）。伝播型ワクチン由来ポリオウイルス（VDPV）を引き起こすことがあります。

2) 不活化ワクチン（IPV）

ポリオウイルスを不活化し、免疫を作るのに必要な成分を取り出して病原性を無くして作ったワクチンです。注射により接種します。ウイルスとしての働きは無いので、ポリオと同様の症状が出るという副反応はありません（発熱は出ます）。メリットはワクチンによるポリオと同様の副反応が絶対に出ないことで、デメリットは高コストであること、注射による接種が必要であることからポリオ非流行地域で使用されております。

※日本の予防接種

経口ポリオワクチンは 2012 年 8 月末まで定期接種されておりました。2012 年 9 月 1 日から不活化ポリオワクチン（注射）に切り替わっております。

②ポリオ根絶への歴史

- ・ 1916 年：ニューヨークでポリオ大流行（2,000 人以上死亡）、米国全土で約 6,000 人が死亡し、数千人が麻痺
- ・ 1928 年：「鉄の肺」が発明
- ・ 1955 年：ジョナス・ソーク博士が開発したワクチンが「安全で効果的である」と宣言（博士は迅速にワクチンを普及させることを最優先として、特許を保有しませんでした）

※博士の誕生日にちなみ、10月24日は世界ポリオデー（ポリオ根絶に取り組む世界中の団体がポリオの無い世界の実現に向けて思いを新たに協力を呼びかける一日）となっております。

- ・1979年：ロータリーによりフィリピンの600万人以上の子どものためにポリオワクチンを購入・輸送するプロジェクト
- ・1985年：国際ロータリーが「ポリオプラス」を開始（当初の目標は1億2,000万ドル）
- ・1988年：RIとWHOが「世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)」を立ち上げる

※ポリオプラスプログラム

- ・1985年：国際ロータリー創立80周年に設けられる
- ポリオと共にはしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして、同時に根絶することを目的（現在は根絶活動の過程で生まれた様々な成果全体をプラスと呼ぶ）。
- ・1995年には、2000年までにポリオを一掃し、ロータリー100周年である2005年までにポリオ根絶を証明することを目的としておりましたが、残念ながら2026年までに目標は変更されております。

※ポリオ根絶活動のパートナー組織

- ・GPEI（世界ポリオ根絶推進活動）
- ・WHO（世界保健機関：戦略担当）
- ・Rotary（寄付・アドボカシー活動担当）
- ・Unicef（国際連合国際児童緊急基金：予防接種）
- ・CDC（米国疾病対策センター：ウイルス対策）
- ・ビル&ミランダゲイツ財団（ロータリーからの拠出金に対して、2倍額を上乗せ）

- ・1994年：南北アメリカ大陸でポリオ根絶宣言
- ・2000年：5億5,000万人の子どもに経口ワクチン投与、オーストラリアから中国にわたる西太平洋地域でポリオ根絶
- ・2003年：常在国は6か国（アフガニスタン、エジプト、インド、ニジェール、ナイジェリア、パキスタン）
- ・2004年：アフリカの23か国8,000万人に経口ワクチン投与



- ・2006年：ポリオ常在国は4か国（アフガニスタン、インド、ナイジェリア、パキスタン）
- ・2014年：インドが非常在国（東南アジア地域のポリオ根絶）
- ・2021年：ナイジェリアでポリオ根絶（常在国はアフガニスタンとパキスタンの2か国）

③ポリオの現状

1) 野生株1型 (WPV1)

- ・常在国はアフガニスタンとパキスタン

の 2 か国です。発症者の昨年累計が 6 件であったのに対して、今年は 10 月の時点で 29 件となっており、増加傾向にあります。また、アフリカのマラウイと隣接地域のモザンビークで野生株 1 型由来の発症者が出ております（パキスタンからのウイルス流入であるため、WHO アフリカ地域の野生株ポリオ根絶の認定に影響はないとされております）。

2) 伝播型ワクチン由来 2 型 (cVDPV2)

・2022 年 8 月、ロンドン市内の下水からポリオウイルスが検出されました。経口生ワクチン接種国からの入国者由来とされております。また、9 月にはアメリカのニューヨークで 20 代男性がポリオを発症しました。この方はワクチン未接種者でした。たった 1 人と思われるかもしれませんが、0.1%が発症するのがポリオであるので、ウイルスに感染した人びとは多く存在している可能性があります。

④ ポリオ根絶計画 2022-2026

GPEI は次の 2 つの目標を掲げております。

- 1) 今も野生型ポリオが常在する 2 か国（パキスタンとアフガニスタン）で野生型ポリオの伝染を阻止すること
- 2) 伝播型ワクチン由来ポリオウイルスの発生を阻止すること

・新戦略の一つとして、ワクチン由来ポリオを引き起こす可能性が低い新型経口ポリオワクチン 2 型 (nOPV2) の配布を拡大しております。タイムスケジュールは、21 年に新型ワクチン投与を開始し、23 年には野生株 1 型の伝播終息、ワクチン由来ポリオウイルスの最後の検出、そして 26 年には野生株 1 型を根絶し、ワクチン由来ポリオウイルスの終息を確認する、となっております。

⑤ 私たちにできることは？

◎「活動」と「寄付」 どちらが欠けても前に進めない

- ・「行動する」：イベント開催（ポリオデー）、募金活動
- ・「声となる」：ポリオ根絶の重要性を訴える声となる（SNS など）
- ・「ポリオプラスへの 30 ドルの寄付」：ロータリーカードを使えば利用額に応じて自動的にポリオ根絶活動に寄付される。

※カード利用に伴う日本からのポリオ根絶への活動提供額は同プログラムにおける世界全体の約 5 割を占めるように



会員数55名 欠席者13名 出席率76. 36%

例会動画リンク 第2214回 通常例会

<https://youtu.be/YxqN5t0H5as>